



平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年6月26日

上場会社名 株式会社ジーンズメイト 上場取引所 東
 コード番号 7448 URL <http://www.jeansmate.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 西脇 昌司
 問合せ先責任者（役職名） 専務取締役（氏名） 砂田 真一 (TEL) 03(5738)5555
 四半期報告書提出予定日 平成27年7月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第1四半期の業績（平成27年2月21日～平成27年5月20日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	2,137	△7.5	△152	—	△133	—	162	—
27年2月期第1四半期	2,311	△0.7	△53	—	△43	—	△85	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年2月期第1四半期	14.86		—					
27年2月期第1四半期	△7.85		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第1四半期	7,166	5,454	76.1
27年2月期	6,886	5,294	76.9

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 5,454百万円 27年2月期 5,294百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の業績予想（平成27年2月21日～平成28年2月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,820	△0.3	△59	—	△37	—	245	—	22.42
通期	9,730	△0.9	△68	—	△36	—	206	—	18.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年2月期1Q	12,651,466株	27年2月期	12,651,466株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年2月期1Q	1,725,833株	27年2月期	1,725,605株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年2月期1Q	10,925,738株	27年2月期1Q	10,926,754株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実行中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成27年2月21日から平成27年5月20日まで)におけるわが国経済は、政府等による経済政策を背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、個人消費については円安による物価上昇などもあり先行き不透明な状況が続きました。

このような経営環境のもと、当社では引き続き業績の回復と安定成長への基盤づくりに向けて取り組んでまいりました。

商品面におきましては、春物商品ではパーカーをはじめとした羽織り物全般、夏物商品ではプリントTシャツやショートパンツなどが気温の上昇とともに活発に動きました。また、機能素材を使った5ポケットのボトムス類も好調に推移した一方で、ベーシックタイプの5ポケット類やシャツ類は期間を通して前年を下回る結果となりました。

販売面におきましては、従来からの雑誌広告や新聞折込広告を継続しながら、FacebookをはじめとしたSNSへの情報発信を強化してまいりました。また、クーポンサイトへの掲出にもチャレンジし、新規顧客の開拓や休眠顧客の掘り起こしにも努めてまいりました。さらには、急増する外国人旅行者への対応として、外国人来店客の多い渋谷店、新宿店、池袋本店の3店舗では4月より免税販売を開始いたしました。

出退店は共になく、当第1四半期会計期間末の総店舗数は97店舗(うち24時間営業店舗は17店舗(すべて「JEANS MATE」))となりました(業態内訳は下表参照)。

以上の結果、売上高21億37百万円(前年同四半期比7.5%減)、営業損失1億52百万円(前年同四半期は営業損失53百万円)、経常損失1億33百万円(前年同四半期は経常損失43百万円)となりましたが、特別利益3億12百万円計上したことにより四半期純利益1億62百万円(前年同四半期は四半期純損失85百万円)となりました。

業態別店舗数

業態	店舗数	出店地域(都道府県)
JEANS MATE	78店舗	東京 神奈川 千葉 埼玉 静岡 愛知 大阪 兵庫 広島 山口 福岡
ワケあり本舗	11店舗	東京 神奈川 千葉 愛知 三重 大阪 兵庫
Happy Door	3店舗	神奈川 栃木 広島
Blue Standard	2店舗	大阪 福岡
STREET	2店舗	千葉
comfort blue	1店舗	東京

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ2億80百万円増加し、71億66百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ2億68百万円増加し、42億97百万円となりました。これは主に有価証券が5億円減少、現金及び預金が3億1百万円減少しましたが、商品が6億26百万円増加、未収入金が3億44百万円増加、売掛金が1億9百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ12百万円増加し、28億69百万円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ1億20百万円増加し、17億12百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ97百万円増加し、11億61百万円となりました。これは主に未払金が3億77百万円減少しましたが、買掛金が4億79百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ23百万円増加し、5億51百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ1億60百万円増加し、54億54百万円となりました。これは主に四半期純利益を1億62百万円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成27年4月3日の当社「平成27年2月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表いたしました業績予想を修正いたしました。当該予想に関する詳細は、平成27年5月20日に公表いたしました「特別利益の計上と営業外収益の減少及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度において営業利益31百万円となりましたが、当第1四半期累計期間において再び営業損失1億52百万円となりました。また、営業活動によるキャッシュ・フローにつきましても、前事業年度において81百万円のマイナスとなり、当第1四半期累計期間を含め継続してマイナスとなりました。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当該状況を解消又は改善すべく、商品力及び販売力の強化を中心に収益力の回復に取り組んでまいります。

① プライベートブランド商品の売上高アップによる売上総利益の確保

ナショナルブランド商品の販売を継続強化していく一方で、当社のプライベートブランドである「Blue Standard」(メンズ)、「innocent blue」(レディース)、「FORT POINT」(ユニセックス)の売上高構成比を高めることで、売上総利益の確保に努めてまいります。前事業年度では全商品売上のうち約20%を占めていましたが、当事業年度は30%を目標に取り組んでまいります。

② 情報発信の強化による集客力の増強

これまで実施してきたメールによる情報配信を強化していくとともに、FacebookをはじめとしたSNSの活用にも注力し、「今のジーンズメイト」を発信していくことで、既存のお客様はもちろんのこと、潜在顧客等に対する来店誘導施策を講じてまいります。

③ 売場提案力の改善等による店頭販売力の強化

それぞれの商品が持つデザインやクオリティなどの各種情報を確実にお客様に届けられる売場づくりを目指すとともに着用イメージなどを付加することでお客様に購買意欲を高めていただけるよう取り組んでまいります。

④ 新業態店舗の育成、確立

基幹業態である「JEANS MATE」をはじめ、「ワケあり本舗」、「Happy Door」、「Blue Standard」の各業態は一定の業績を残せておりますが、商業施設向けの「STREET」業態や前事業年度に出店した「comfort blue」業態においては十分な結果を残せていないことから、引き続き細部に至るまで検証し収益力の強化に取り組んでまいります。

⑤ インターネット通販の強化

これまで自社サイトでのみ実施していた通信販売において、前事業年度後半からは大手通販サイト「Amazon」への出店を開始し、着実に売上を伸ばすことができました。今後も販売体制の強化や販売網の拡大等を模索しながら、インターネット通販の売上拡大を目指してまいります。

⑥ 外国人旅行者への対応

急増している外国人旅行者に向けてSNSによる情報発信を継続していくとともに、来店客数の多い店舗では免税販売を行い、外国人旅行者の獲得を目指してまいります。なお、当第1四半期累計期間では、3店舗(渋谷店、新宿店、池袋本店)にて免税販売を開始いたしました。

上記を中心とした施策を講じながら収益力の回復に努めてまいりますとともに、今後の運転資金は十分に確保できていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月20日)	当第1四半期会計期間 (平成27年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	989,327	688,012
売掛金	128,994	238,826
有価証券	1,416,635	916,365
商品	1,386,955	2,013,800
未収入金	11,438	355,862
その他	95,723	84,212
流動資産合計	4,029,076	4,297,080
固定資産		
有形固定資産	23,527	39,608
無形固定資産	3,862	3,666
投資その他の資産		
投資有価証券	1,101,959	1,101,915
敷金及び保証金	1,726,257	1,721,269
長期未収入金	172,800	172,500
その他	1,864	3,195
貸倒引当金	△172,800	△172,500
投資その他の資産合計	2,830,081	2,826,379
固定資産合計	2,857,471	2,869,654
資産合計	6,886,547	7,166,734
負債の部		
流動負債		
買掛金	215,504	695,013
未払金	701,334	324,029
賞与引当金	23,887	11,260
店舗閉鎖損失引当金	—	1,108
資産除去債務	4,428	10,362
その他	118,885	119,325
流動負債合計	1,064,040	1,161,100
固定負債		
資産除去債務	452,520	447,047
その他	75,621	104,211
固定負債合計	528,142	551,258
負債合計	1,592,182	1,712,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,812	2,015,812
資本剰余金	2,125,434	2,125,434
利益剰余金	2,411,870	2,574,258
自己株式	△1,260,065	△1,260,126
株主資本合計	5,293,051	5,455,379
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△519	△1,003
繰延ヘッジ損益	1,833	—
評価・換算差額等合計	1,313	△1,003
純資産合計	5,294,364	5,454,375
負債純資産合計	6,886,547	7,166,734

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年5月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年2月21日 至平成27年5月20日)
売上高	2,311,032	2,137,687
売上原価	1,144,628	1,089,252
売上総利益	1,166,404	1,048,435
販売費及び一般管理費	1,220,083	1,200,722
営業損失(△)	△53,679	△152,287
営業外収益		
有価証券利息	6,295	4,599
受取賃貸料	5,370	5,370
営業補償金	—	12,000
その他	3,997	1,823
営業外収益合計	15,662	23,793
営業外費用		
賃貸費用	5,370	5,370
その他	145	115
営業外費用合計	5,515	5,485
経常損失(△)	△43,532	△133,979
特別利益		
違約金収入	—	312,000
特別利益合計	—	312,000
特別損失		
減損損失	29,527	3,764
店舗閉鎖損失引当金繰入額	2,135	1,108
特別損失合計	31,662	4,873
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△75,194	173,146
住民税	10,529	10,828
法人税等調整額	—	△70
法人税等合計	10,529	10,758
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△85,723	162,388

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。